

科目名	実習Ⅱ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習80%
時間数	180	作成者	大西 智子
【科目の到達目標】 レディスウエアの基本アイテムであるジャケット(チャック柄テーラードカラー・ショールカラー)、コート(ラグランスリーブ・フライフロント)、カットソー、部分縫いにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。			
【科目の概要】 ファッション業界において商品企画する為に洋服の構造理解することは不可欠である。 企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1・2	概論/ボディ作り 採寸、製図	31・32	カットソー裁断
3・4	ボディ作り トワール組み立て	33・34	カットソー縫製
5・6	ボディ作り 仮縫い説明、第一仮縫	35・36	部分縫いポケット3種
7・8		37・38	
9・10	ボディ作り 第二仮縫い	39・40	チェックテーラードジャケット製図
11・12		41・42	チェックテーラードジャケット縫い代付け
13・14		43・44	チェックテーラードジャケット裁断
15・16	ボディ作り ボディの削り、綿つみ	45・46	チェックテーラードジャケット裁断
17・18		47・48	チェックテーラードジャケット縫製
19・20		49・50	チェックテーラードジャケット縫製
21・22	部分縫い 薄物始末	51・52	チェックテーラードジャケット縫製
23・24	部分縫い 薄物始末	53・54	チェックテーラードジャケット縫製
25・26	ボディ作り 付属トワールの説明	55・56	チェックテーラードジャケット縫製
27・28		57・58	チェックテーラードジャケット縫製
29・30	ボディ作り 仕上げ・提出	59・60	チェックテーラードジャケット縫製
	※ロックミシン講習会(90分) →夏季休暇中(時間外)	61・62	チェックテーラードジャケット縫製
		63・64	チェックテーラードジャケット縫製
		65・66	ラグランスリーブのコートの製図
		67・68	ラグランスリーブのコートの製図
		69・70	ラグランスリーブのコートの裁断
		71・72	ラグランスリーブのコートの裁断
		73・74	ラグランスリーブのコートの縫製
		75・76	ラグランスリーブのコートの縫製
		77・78	ラグランスリーブのコートの縫製
		79・80	ラグランスリーブのコートの縫製
		81・82	ラグランスリーブのコートの縫製
		83・84	ラグランスリーブのコートの縫製
		85・86	ラグランスリーブのコートの縫製
		87・88	ラグランスリーブのコートの縫製
		89・90	ラグランスリーブのコートの縫製
【成績評価方法】 作品(的確な縫製、完成度)60%、試験30%、平常点10%(課題全提出、締め切り期日の厳守) 指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。			
【教科書・参考書】 『ジャケット』『コート』『テーラリング』上田安子服飾専門学校 最新版 ・教員作成のオリジナルプリント			
【教材・教具】 ミシン等縫製機器 洋裁道具一式 実物又は部分縫いの見本			

科目名	クリエイションテクニック	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20 % 実習80%
時間数	90	作成者	大沢 妙

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムであるシャツ、パンツにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。また、創作作品ではコースの特色を活かしたデザインで効率の良い縫製を考えて製作する。

【科目の概要】

ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。

企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期	
1・2	シャツの芯貼り、縫製		31	創作作品(又は上田学園コレクション作品)の製図
3・4	シャツの縫製		32	
5・6	シャツの縫製		33	創作作品 トワール仮縫い
7・8	シャツのデザイン製作		34	
9・10	シャツのデザイン製作		35	創作作品 裁断
11・12	シャツのデザイン製作、仕上げ、提出		36	創作作品 縫製
13・14	パンツのパターン展開・仮縫い準備		37	↓
15・16	パンツの仮縫い・補正		38	↓
17・18	パンツパターン作成		39	↓(上田学園コレクション作品仕上げ)
19・20	パンツの裁断・縫製		40	↓
21・22	パンツの縫製		41	↓
23・24	パンツの縫製		42	↓
25・26	パンツの縫製、仕上げ		43	↓
27・28	ショールカラー 見返し・表襟パターン作り		44	↓
29・30	ショールカラー部分縫い		45	提出

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『ブラウス』『パンツ』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具・洋裁道具一式・製図用具一式

科目名	パターンメイキングⅡ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習 80%
時間数	120	作成者	大沢 妙
理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる			
【科目の概要】 時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
1	(1/2)バギー・ベルボトム	31	テーラードJK2枚袖 作図 囲み製図の方法
2	(1/2)ペグトップパンツ・フレアーパンツ	32	マニプレーション
3	スラックス原型作成(自分サイズ)	33	〃 トワール組(半身ピン打ち)
4	デザインパンツ 製図	34	
5	トワール組み(両身) 着用してグループ検討会	35	表襟、見返しの展開について
6		36	
7	メンズシャツ 製図	37	ポケットの作図について復習(両玉縁ポケット)
8		38	
9	メンズ スラックス 製図	39	裏地(総裏)作図について ・工業用パターン作成
10	袖のバリエーション(実寸) タック・フレアー・ランタン ペタル・ジゴ	40	
11		41	ショールカラー 実寸製図
12		42	ショールカラー チップパターン 見返し展開
13		43	トワール準備
14	ラグランスリーブコート 製図 実寸 (台襟切替ステンカラーの形の検証)	44	地襟芯貼り(テープ貼り省略)
15		45	ショールカラー 部分縫い(腰丈まで)
16		46	
17		47	(1/2)身頃続きの袖(マチ)三角マチ、ひし形マチ、五角マチ
18		48	実寸 半袖5角マチ トワール組み(角つくり) (半身ミシン縫い)
19		49	
20	子供服原型 子供ワンピース 製図	50	
21	トワール組み(両身ミシン縫い)	51	ジーンズ 製図(30インチ)
22		52	パーツパターン抜き出し
23	ファンデーション	53	工業用パターン 作成
24		54	
25	トワール組み(両身ミシン縫い)	55	トワール組み(両身ミシン縫い)
26		56	
27	Tシャツ 製図(後期実習授業にて作成)	57	
28	縫い代付きパターン・仕様書作成	58	
29	まとめ	59	まとめ
30		60	
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 プリントを配布 服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』 山路俊美 『メンズ製図集抜粋』			
【教材・教具】 筆記用具、製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ トワール、シルクピン、ミシン用具、鋏			

科目名	オートクチュール技術Ⅰ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	大西智子

【科目の到達目標】

オートクチュールの意味を理解し 基本的な縫製技術から、高度な縫製技術を修得し、美しいシルエット創りや体型や素材に応じたパターン作製、縫製ができる人材の育成。

【科目の概要】

オートクチュール概論、採寸方法、自分サイズボディ、肩パッドの作成技術を修得する。

【授業計画】

90分/コマ

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 1・2 | ファンデーション
ドレーピング、寒冷紗仮縫い準備 |
| 3・4 | ファンデーション
寒冷紗仮縫い準備、寒冷紗仮縫い |
| 5・6 | ファンデーション
寒冷紗仮縫い、本生地裁断、本生地仮縫い準備 |
| 7・8 | ファンデーション
本生地仮縫い準備 |
| 9・10 | ファンデーション
本生地仮縫い準備 |
| 11・12 | ファンデーション
本生地仮縫い |
| 13・14 | ファンデーション
本生地仮縫い |
| 15・16 | ファンデーション
仕立て① |
| 17・18 | ファンデーション
仕立て② |
| 19・20 | ファンデーション
仕立て③ |
| 21・22 | ファンデーション
仕立て④ |
| 23・24 | ファンデーション
仕立て⑤ |
| 25・26 | ファンデーション
仕立て⑥ |
| 27・28 | ファンデーション
仕立て⑦ |
| 29・30 | ファンデーション
提出 |

【成績評価方法】

課題作品7点の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版
上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版
教員作成オリジナルプリント『オートクチュール技術』

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式
実物作品、部分縫い見本

科目名	ドレーピングⅠ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	上田安子パターン担当

【科目の到達目標】

ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに出来る。

【科目の概要】

立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、今日アパレルメーカーで求められるスピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。凸凹のある女性の体(ボディ)に布地(トワール)を合わせてゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 1、2 | 「ドレーピング概論」
・ボディ、トワールの扱い方の講義 |
| 3、4 | ショルダーカット(ダーツ) |
| 5、6 | アームホールカット(ダーツ) |
| 7、8 | サイドカット(ダーツ) |
| 9、10 | ウエストカット(ダーツ) |
| 11 | ステンカラー
カットで作った身頃を使用 |
| 12 | ピーターパンカラー
カットで作った身頃を使用 |
| 13 | 台襟付きシャツカラー
カットで作った身頃を使用 |
| 14 | 開襟シャツカラー
カットで作った身頃を使用 |
| 15、16 | テーラードカラー |
| 17 | タイトスカート |
| 18 | タイトスカートのパターンどり |
| 19、20 | フレアースカートの製作 |
| 21、22 | ジャケット |
| 23、24 | ・テーラードカラー |
| 25、26 | ・一枚袖 |
| 27、28 | まとめ |
| 29、30 | 前期試験 |

【成績評価方法】

課題作品の評価 60% 期末試験 30%・・・評価シートによる 授業研究態度 10%

【教科書・参考書】

オリジナルプリント

【教材・教具】

トワール、シルクピン、黒綿テープ、アイシーテープ、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル

科目名	ファッションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	松岡葵
【科目の到達目標】 半年間終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。			
【科目の概要】 アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。			
【授業計画】 90分/コマ		前期 後期	
1	ヌードボディの表現	16	メンズ表現①（着装、着色）
2	ヌードボディの表現	17	メンズ表現②（着装、着色）
3	顔、ヘアスタイル表現①	18	キッズ表現①（着装、着色）
4	顔、ヘアスタイル表現②	19	キッズ表現②（着装、着色）
5	着装表現①（女性的ディテール表現）	20	手、足、靴表現（着色）
6	着装表現①（女性的ディテール表現）	21	手、足、靴表現（着色）
7	着装表現②（装飾や小物表現）	22	手、足、靴表現（着色）
8	着装表現②（装飾や小物表現）	23	角度のある顔、ヘアスタイル表現
9	着色表現①（その他応用表現）	24	アイテム画表現
10	着色表現②（その他応用表現）	25	アイテム画表現
11	デザイン画選手権の作品制作（ラフ）	26	就職に向けてのデザイン画制作（ラフ）
12	デザイン画選手権の作品制作（下絵）	27	就職に向けてのデザイン画制作（下絵）
13	デザイン画選手権の作品製作（着色）	28	就職に向けてのデザイン画制作（着色）
14	デザイン画選手権の作品製作（着色）	29	就職に向けてのデザイン画制作（着色）
15	前期末テスト	30	後期末テスト
【成績評価方法】			
【教科書・参考書】 立嶋滋樹著『Creation Drawing』服飾手帖社2009年、高村是州著『ファッションデザインテクニック』グラフィック社2005年 NANCY RIEGELMAN著『COLORS FOR MODERN FASHION』NINE HEADS MEDIA			
【教材・教具】 ケント紙、ドローイングペン、着色画材など			

科目名	ファッションデザイン論Ⅱ-D	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	90	作成者	佐山 孝典

【科目の到達目標】

本授業ではアパレル商品企画・基礎知識を身に付け、自ら企画を立ててニーズに合った企画提案ができ、デザインを考える能力の向上や感性を身につけることを目標とする。

【科目の概要】

アパレル産業におけるデザイン・商品企画に必要な知識と技術を学ぶ。
デザインするにあたって基本的な仕組みや原理を学び、洋服のデザインに応用する。
素材の特性を知り、テキスタイルを中心にアパレルデザインを考え企画書としてプレゼンする。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	プレタ展 シャツデザイン①	16-17	企業デザイナーの仕事とクリエイション
2	プレタ展 シャツデザイン②	18-19	デザインとテキスタイル①
3	プレタ展 シャツデザイン③	20-21	デザインとテキスタイル②
4	デザイン演習① ブランドコンセプト	22-23	上田学園プレタポルテ展示会企画①
5	デザイン演習② シーズンコンセプト	24-25	上田学園プレタポルテ展示会企画②
6	デザイン演習③ ブランド研究・リサーチ	26-27	上田学園プレタポルテ展示会企画③
7	デザイン演習④ デザイニング	28-29	上田学園プレタポルテ展示会企画プレゼン
8	デザインの領域とアパレルデザイン	30-31	企業マップ①
9	デザイン発想①	32-33	企業マップ②
10	デザイン発想②	34-35	企業マップ③
11	コンテスト・コンペデザイン	36-37	クリテクマップ①
12	ブランド企画①	38-39	クリテクマップ②
13	ブランド企画②	40-41	クリテクマップ③
14	ブランド企画③	42-43	プレタ企画 ミーティング
15	試験	44-45	試験

【成績評価方法】

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具 デザインパッド 参考プリント 画材
ファッション週刊誌WWDジャパン

教科名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義100 %
時間数	30	作成者	河本 育子
【授業の到達目標】 ファッション業界での素材の位置づけ、役割を体系的に理解し、素材の知識を深めていく。 市場動向を読み取り、そのコンセプトにあったデザイン、素材に落とし込めるようになる。			
【授業概要】 ファッショントレンドと素材の関連性を意識、また市場の動向を踏まえながら、 アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。			
【授業計画】 90分/コマ			
1	オリエンテーション		
2	素材とファッショントレンドの関係について ■アパレル製品の生産流通経路(1)		
3	■アパレル製品の生産流通経路(2)		
4	産地 ■布地 織物		
5	■布地 編物		
6	布地まとめ		
7	■糸の種類と太さ		
8	■繊維の種類と特性		
9	天然繊維(植物繊維)		
	天然繊維(動物繊維)		
10	化学繊維(再生繊維・半合成繊維)		
11	化学繊維(合成繊維)		
12	■素材の機能性		
13	■生地加工 染色・プリント・仕上げ		
14	総復習(テスト傾向と対策)		
15	総合テスト		
【成績評価方法】 平常点(授業態度)10% 理解力(小テスト,総合テスト)50% 提出物40% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。			
【教科書・参考書】 ・一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社2012年 ・田中道一『洋服地の事典』関西衣生活研究所			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 90 % 実習 10 %
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。

【授業計画】

90分/コマ

1	ガイダンス
2	【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化 古代ローマ～中世
3	ルネサンスと衣服
4	エリザベス1世の誕生 服飾トレンドの認知
5	マリーアントワネット：革命と失脚
6	19世紀ナポレオンとドレススタイルの変化
7	復習・まとめ
8	オートクチュールの誕生 ベルエポックとレ・ザネ・フィル
9	世界恐慌とファッションの復興
10	19～20世紀 フランス：オートクチュールからプレタポルテ
11	19～20世紀 イタリア：GUCCIとハイブランドの変遷
12	19～20世紀 ロンドン：パンクムーブメント
13	19～20世紀 アメリカ：ヴィンテージファッションの特徴と判別
14	20世紀 日本国内のトレンド：DCブランド～KAWAIIカルチャー
15	総復習 テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

教科書「西洋服飾史」

科目名	コンピュータ演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。
アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。
このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、
使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 自己PRシート作成(写真を撮影し画像処理)
- 2 " ロゴマーク作成
- 3 ポートフォリオ作成 ポートフォリオの考え方(要素・機能・効果)
- 4 " スキャナーなどからの画像の取り込み方(画像解像度を理解する)
- 5 " レイアウトの基礎マップ作成 Photoshopを使った画像合成
- 6 " ハンガーイラストの描き方 Illustratorを使ったペンツールなどのテクニック
- 7 " デザイン画の着色方法 線画に着色、柄を作成し着色する
- 8 " Photoshop作成画像をIllustratorでレイアウトしポートフォリオを完成する
- 9 タイトスカート パターン作成(Pattern Magic)
- 10 ハンガーイラスト作成(縫製仕様書)
- 11 CAD タイトスカート2本ダーツ製図
- 12 表地工業用パターン作成 裏地工業用パターン作成
- 13 マーキング(Marker Magic) 仕様書指示書作成
- 14 まとめ
- 15 テスト

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%

【教科書・参考書】

コンピュータ演習*アパレルCAD*

【教材・教具】

プリント配布 データ配布 フラッシュメモリ 筆記用具

科目名	ファッションビジネス論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実技 20%
時間数	30	作成者	三谷 和也

【科目の到達目標】

- ・ファッションを通じて、社会に貢献できる社会人としての知識や考え方の基礎を身につける。
- ・社会人としてのコミュニケーションの能力を高め、即戦力としての知識や行動力を身につける。
- ・一人ひとりの目標を明確にし、強い意志でその目標に向かって行動する姿勢を身につける。

【科目の概要】

ファッションビジネスを業態や職種を通じてその仕事の中身を理解し、なぜそうなのかを考える
アパレル業界のしくみの本質を理解し、今の時代にあったビジネス感を養う

【授業計画】 90分/コマ

- 1 アパレルにおける仕事の流れ。
- 2 川上、川中、川下の話。
- 3 テキスタイル産地の現状
- 4 原料メーカー、専門商社、産地（デニムの知識）
- 5 5大コレクションと観察カトレーニング
- 6 機能素材の話。機能ウェアの話
- 7 日本のファッション史と観察力
- 8 繊維関係各社の仕事内容（学生面談）
- 9 VMDの話 A4に実習
- 10 コロナ禍置けるブランド戦略（注目会社）
- 11 ブランド作成、ブレインストーミング
- 12 店舗開発についての話とパースの考え方。
- 13 これからのファッションにおけるブランドビジネスについての講義
- 14 オートクチュールとプレタポルテのこれから。
- 15 テスト
筆記試験

【成績評価方法】

【教科書・参考書】

日経MJ ・ 繊維研新聞 ・ 読売新聞 ・ WWD ・ プレジデント

【教材・教具】

ノート ・ 筆記用具

科目名	クリエイティブワーク	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 実習 80 %
時間数	30	作成者	小川雄士

【科目の到達目標】
ファッション業界の第一線で活躍する為の、専門的で特化した知識・技術・感性の習得
オートクチュール全般(オーダー衣装)、ウエディングドレス、舞台・ミュージカル衣装、TV・PV・LIVE・メディア向け衣装、
バレエ・社交ダンス・フィギュアスケート・新体操・その他 ダンスやスポーツウェア制作に必要な知識、縫製、装飾技術の習得

【科目の概要】
特殊素材、装飾品等の教養を深め、業界で即戦力となる人材を育成する。社会人になってから教わる事を先に学生時代から習得しておく
就職、及び独立の際に必要な専門的な技術、知識、感性を向上させる為の講義と実習を展開。自ら経験し財産を蓄え学生生活にも活かす
就職面接の際の実技試験を教授。また各企業で実際に使われている高等テクニック、各技法を「企業実習形式」で体感する

【授業計画
90分/コマ

前期	
1	オリエンテーション 道具・授業の内容説明等
2	装飾①説明・実技 ラインストーン装飾
3	装飾②実技 ラインストーン装飾
4	ミシン実習①専門的な縫製技術
5	ミシン実習②専門的な縫製技術
6	ミシン実習③専門的な縫製技術
7	就職・独立する為の技術や知識習得
8	ウエディングドレス等 衣装見学・試着・撮影・説明
9	ドレス・衣装関係の専門的な説明、教養
10	衣装制作①デザイン、縫製、装飾、説明
11	衣装制作②デザイン、縫製
12	衣装制作③デザイン、縫製、装飾
13	衣装制作④縫製、装飾
14	テスト前準備・課題確認・相談
15	テスト 製作・撮影
※学期末テストでは衣装を製作して頂きます	

【成績評価方法】
課題作品の評価 75%、期末試験 20%、授業態度 5%
(+@ 先生やクラスメイトとのコミュニケーション力・プレゼンテーション力など)
※グループワークでの製作もございますので、個人の構想力やチームワーク等も含まれます

【教科書・参考書】
各企業、工場、アトリエ、衣装制作現場による専門知識を実技によって習得
小川雄士著 オリジナルテキスト その他

【教材・教具】
デザイン & パターン作成道具、手縫い & ミシン縫製道具、装飾品取付道具一式、筆記用具、メモ帳、各種生地など
*ミシンと装飾品関係は学校側で準備致します

科目名	キャリアデザイン	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

クリエイター学科が目指す卒業後の進路・就職先の獲得と卒業後のスキルアップの方法を修得。

【科目の概要】

アパレル業界を中心とした川上・川中・川下の理解と社会人としての基本マナーの習得、就職活動の方法や面接、グループディスカッションの技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 就職先となる業界の現状把握(A先生)
- 2 就職活動までに準備すべき内容(B先生)
- 3 ポートフォリオの制作方法(B先生)
- 4 企業分析の方法と対策(C先生)
- 5 インターンシップの活用方法(C先生)
- 6 エントリーシートの記入方法(C先生)
- 7 自己PRと志望動機のポイント(C先生)
- 8 個別面接対策(C先生)
- 9 グループディスカッション(C先生)
- 10 卒業後のスキルアップ(C先生)
- 11 社会人マナー①(D先生)
- 12 社会人マナー②(D先生)
- 13 社会人マナー③(D先生)
- 14 社会人マナー④(D先生)
- 15 キャリアサポートセンターの活用方法(A先生)

【成績評価方法】

【教科書・参考書】

「キャリアテキスト」株式会社パーソナルヴィジョン研究所

【教材・教具】

筆記用具、参考プリント